

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です

発行所 宮城県民主医療機関連合会
 仙台市青葉区木町通1-8-18
 〒980-0801 田村ビル5F
 TEL 022-265-2601
 FAX 022-263-8266
 e-mail:dai@miyagi-min.com
 発行人 坂田 匠
 1日・15日 月2回発行 1部50円

**みんなで考えよう介護保険
みやぎ県民フォーラム2020**

日時▶12月12日(土) 14:00~16:30
 会場▶フォレスト仙台2F 第5・6会議室
 【会場定員60名】※参加には事前申し込みが必要です。

主催/みんなで考えよう介護保険!
 県民フォーラム2020実行委員会
 事務局/022-388-9968 (宮城厚生福祉会本部)

みやぎ民医連

2020年度災害公営住宅訪問調査

宮城県民医連では、2015年から毎年災害公営住宅訪問調査を行っています。2020年度の災害公営住宅調査は、新型コロナウイルスの感染の広がりを考慮し、住宅への一斉訪問は行わず、これまで調査に協力をいただいた方々に調査用紙を郵送し、回答が戻ってこない方を中心とした追跡調査を行いました。

坂総合病院

コロナ禍で交流が減り 孤立が心配

10月24日、塩釜市、多賀城市、七ヶ浜町の災害公営住宅を訪問しました。この日は県連理事会の前に訪問行動を行いました。参加者は県連理事、各事業所の職員、共同組織の方、医学生の47名でした。



注意事項について話す矢崎とも子医師

出発前に矢崎とも子医師より調査方法と注意事項について話がありました。感染防止のためマスク、フェイスシールドを着用し、長時間の会話は避けて玄関に上がらず、外での対話とすることなどの注意点を確認しました。その後、二人一組となつてそれぞれの組が十



出発前の参加者

数件を訪問しました。留守宅も多く、引越越しをしていて別の家族の方が住んでいる世帯もありました。参加者からは「以前に回答してくれた方が対象なので快く対応していただけた」という感想がありました。また、「対話できた方は進んで話をしてくれました。日頃、隣り近所とのつながりがなく、挨拶程度の会話のみという方がいてコミュニケーション不足を感じた」「コロナ禍で町内会等の行事がなく交流が減って孤立が心配」「体調が不調、家賃が心配だ」との声があった。「交



長町病院での参加者

長町病院

困難を抱えた人が多くいることを実感

長町病院 副事務長 阿部 一彦

10月29日、あすと長町地域3棟60軒余りを16名で訪問しました。訪問の中では、近所の方との交流が少ないという方、値上げ予定の家賃や仕事での収入に不安を持っている方、自殺した人がいたなどのお話を伺いました。健康実態調査のアンケートにも快く対応いただきました。

参加者からは、「実際に、お宅を訪問することで、公営住宅の実際を知る事ができた」と思っています。「交流す

泉病院

交流や支援を 求める思いは切実

泉病院 副事務長 渡辺 展子



友の会ホールで事前説明

11月7日の土曜日の午前の時間を利用して、泉中央南市営住宅の訪問調査を行いました。

「地域の現状や生活を知る取り組みはたいへん意義があり、今後も継続していくべき」「訪問を重ねることで実情が見えてくる、より多くの職員の参加できる取り組みにできれば」との感想も寄せられました。

2014年に災害公営住宅として建設され、10階建1棟に193戸が入居可能で、地下鉄泉中央駅から1.1kmの位置にあります。

泉病院友の会役員の皆さんと、県連、泉病院、ケアSTいずみ、つばさ薬局の職員総勢12名が参加しました。

訪問対象30軒のうち対話できたのは13軒、そのうち調査用紙が回収できたのは4軒で、5軒は後

日郵送いただけるとの見込みです。拒否された4軒からは「強制でないのなら答えたくない」「変わりはないので」といった反応のほか、「障害者がいて手が離せない」との声もきかれました。転居が3軒、うち2軒は空き家のままでした。

初めて参加した職員からは「生の声を聞くことができて、勉強になった」「アンケートや訪問だけでは聞きとれない思いや気持ちもたくさんあると思うので、活動を継続していけるとよい」「1人でも多くの人のSOSに気づいてあげられたらと思う」といった感想が出され、貴重な学びの場ともなったことがうかがえました。



玄関前で

ペースでのイベントが中止になり、近所づきあいの中で固まっている様子もあり、コミュニケーションをとることに難しさを感じました。「私達に悩みを打ち明けてくださった方に、救済の手が届くように支援していきたいと思っています。」「陽がささない生活してました。光熱費が以前より高いと話してました。」「毎年記入して何の改善も感じられない、と記入をためらう方が多かったです。今回の調査で多くの方

より「アンケートの結果が返されない、どのように生かされているかの実感が無い」とのお叱りの声をいただきました。改善に向けて行政に届けるだけでなく協力いただいた方に郵送でも構わないので結果返しが必要と思われまふ。今後も被災者へ寄り添いながら継続した取り組みを続けていきたいと思っています。



感染予防をしっかりと

健康手帳 私は小学生のころまで、体が弱く、入退院を繰り返してしましました。退院日は屋食がいつもカレールイスで、毎回楽しみました。幼いながら、私のあこがれの仕事は「病院でカレールイスを作っている人」になつていきました。▼希望の職業につき、19歳で民医連に入職し、今年で30年になります。振り返ると、青年時代は、毎日新しい仕事を覚えるのが楽しかったのを覚えています。患者様からも直接「食事が楽しんだよ」と声をかけていただき嬉しかったです。仕事が終わると、青年部やJBの仲間たちと共に遊び、語り合いました。それもまた、かけがえのない時間だったと思えます。私は「民医連」に「仲間」に育ててもらったのだとつくづく実感します。▼年を重ね、育てる側として役割や責任が増えてきました。まだまだ至らないところがあり、周りの仲間には迷惑をかけていることも多々ありますが、日々職責を全うすべく努めています。

▼私は希望の職業につき、医療に携わっています。次の世代には、私が先輩方から教えたもろった「民医連仲間」のすばらしさを伝え、そして、医療人としての誇りややりがいを持って、日々成長してほしいと願っています。

